「これからの 数学２　探究ノート」観点別評価規準例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **項　目** | **該当頁** | **学習内容** | **観点別評価規準例** | 時数 |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ① 連続する整数の和 | p.4～7 | 連続する5つの整数の和や4つの整数の和に関する性質を見いだし，文字式を利用して説明する | ○文字式が表す意味を正しく読み取ることができる。 | ○既習の内容をもとに，条件を変えた場合について考察することができる。○文字式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 | ○文字式を利用した問題解決の過程を振り返って統合的・発展的に考察しようとしている。 | 1 |
| ② 文字が3つの方程式【発展】 | p.8～11 | 連立2元1次方程式の解き方をもとに，連立3元1次方程式の解き方について考察する | ○方程式を解くことの意味を理解している。 | ○連立2元1次方程式と関連付けて，連立3元1次方程式の解き方について考察し，説明することができる。 | ○連立方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。○連立方程式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 | 1～2 |
| ③ グラフを左右に移動したら【発展】 | p.14～17 | 1次関数のグラフをx軸方向に移動したグラフと式の関係について考察する |  | ○1次関数の特徴を表，式，グラフで捉えるとともに，それらを相互に関連付けて考察し，説明することができる。 | ○移動前と移動後の2つのグラフの関係について考えようとしている。 | 1～2 |
| ④ 点Bが動いたときの角の大きさ | p.18～21 | 平行線と折れ線の角の問題を統合的・発展的に考察する |  | ○平行線の性質や三角形の角の性質を利用して角の大きさの関係について考察し，文字を用いて一般的に説明することができる。 | ○図形の性質を見いだす場面において，根拠を明らかにして論理的に説明しようとしている。 | 1～2 |
| ⑤ 四角形の合同条件 | p.22～25 | 四角形の合同条件について考察する |  | ○三角形の合同条件をもとに，四角形の合同条件について論理的に考察し，証明することができる。 | ○証明の根拠を明らかにし，言葉や用語，記号を適切に用いて表現しようとしている。○推論の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 | 1～2 |
| ⑥ 長さの感覚を調べよう | p.26～29 | 集めたデータをもとに，10cmの感覚の個人差について調べる |  | ○日常の事象において，箱ひげ図を利用して複数のデータの分布の傾向を比較し，批判的に考察したり判断したりすることができる。 | ○データの傾向を読み取り，批判的に考察しようとしている。 | 1～2 |
| ⑦ 動物の年齢を人間に換算する | p.30～33 | 動物の年齢とそれを人間に換算したときの年齢の関係を1次関数とみなして考察する |  | ○具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして，変化や対応の様子を考察し予測することができる。○1次関数を利用して問題解決する場面において，目的に応じて表，式，グラフを適切に選択し表現することができる。 | ○1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。○1次関数を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 | 1 |